

NEWS RELEASE

2017年10月31日
株式会社三菱総合研究所

2017年7-9月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より11月15日(水)に公表予定の2017年7-9月期のGDP速報(1次QE)について予測を行った。

2017年7-9月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.6%)と7四半期連続のプラス成長を予測する。前期の反動もあり内需は横ばいにとどまるものの、好調な輸出を背景に外需が増加したと予想する。

消費は、17年前半にかけて高めの伸びが続いてきた反動もあって、同▲0.1%と7四半期ぶりの減少を予測する。設備投資は、設備稼働率の上昇や人手不足による自動化・省力化ニーズの強まりなどを背景に、同+0.7%と4四半期連続の増加を見込む。公的資本形成は、前期の大幅な増加となった反動から、減少すると予想する。

輸出は、世界的な生産活動やITサイクルの改善を受けて、好調を維持しており、同+1.5%と2四半期ぶりの増加を予測する。一方、輸入は、国内消費の伸び一服などを背景に同▲1.0%と、4四半期ぶりの減少が見込まれる。結果として外需の寄与度は+0.4%pの大幅なプラスとなろう。

表 2017年7-9月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2016年		2017年	
		10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 予測
実質GDP		0.4	0.3	0.6	0.4
	季調済前期比年率	(1.6)	(1.2)	(2.5)	(1.6)
民間最終消費		0.1	0.4	0.8	▲0.1
民間住宅投資		0.2	1.0	1.3	▲0.7
民間企業設備投資		2.0	0.5	0.5	0.7
民間在庫	寄与度	▲0.2	▲0.1	0.0	0.1
政府最終消費		0.0	▲0.1	0.4	0.1
公的固定資本形成		▲2.4	0.4	6.0	▲2.6
財・サービス輸出		3.1	1.9	▲0.5	1.5
財・サービス輸入		1.4	1.3	1.4	▲1.0
内需	寄与度	0.1	0.2	0.9	▲0.0
民間	寄与度	0.2	0.2	0.6	0.1
公需	寄与度	▲0.1	0.0	0.4	▲0.1
外需	寄与度	0.3	0.1	▲0.3	0.4
名目GDP		0.5	▲0.1	0.7	0.7
	季調済前期比年率	(2.1)	(▲0.4)	(3.0)	(2.9)
GDPデフレーター	前年同期比	▲0.1	▲0.8	▲0.4	0.2
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.3	0.0	0.3	0.5

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。

表中の実績値は、2017年4-6月期2次QEに基づく。シャドウ部分が今回の予測値。

出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所(<http://www.mri.co.jp/>)
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就

電話:03-6705-6087 ファクシミリ:03-5157-2161 メール:morisige@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、渋谷、角田

電話:03-6705-6000 ファクシミリ:03-5157-2169 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。